

師團長	參謀長	高級副官	主任	部	付
○	○	○	○	○	○

石師副官第五六號

恩賞關係書類送付、件通牒

昭和二十年二月三日 第六十二師團司令部

京都聯隊區司令部 御中

左記者ニ對スル首題、件別紙、通送付ス

左記

			五	事實證明書
			四	病歷書
			四	病名及之證明書
			六	死亡證明書
			二	諸給與金證明書
			二	所屬部隊
				關係隊區名
			戰死	死別
			一陸	官
			早川貞一	氏名



付	部	任主	副級高長謀參長團帥
封	封	封	封

神國外	陸海軍	生計	格
封	封	封	封

石第三五九二昭和二十年二月廿五日
部隊經由長官第四五號

石十三號 第四六號

恩賞關係書類送付ノ件報告

昭和廿年貳月廿參日 石第三五九四部隊

石第一八八二部隊御中

有題ノ件左記ノ通送付ス

記

九	九	九	一〇	五	京都	死別	官	氏	名
證明書	病歴書	證明書	死別書	精養軒	關係	死別	官	氏	名

石第三五九二昭和二十年二月廿五日 第六十二團司令部
恩賞關係書類送付ノ件報告
石第三五九四部隊
石第三五九二部隊司令部
石第三五九四部隊司令部

陸	海	軍	生計	格
封	封	封	封	封
陸	海	軍	生計	格
封	封	封	封	封

陸軍

中國海軍...

百十三號	豫東	張口	六	...
...
...
...
...

Vertical text labels:
 首領...
 中...
 正...
 副...
 ...

事實證明書

本籍地
 現住所



獨立步兵第十三大隊本部

昭和四年徵集 陸軍二等兵 早川 貞一

內地港灣出發年月日 昭和十九年三月三十一日(門司港出帆)

戰地到着年月日 昭和十九年四月四日(小海關通過)

勤務概要

自昭和十九年四月四日 輸送業務

自同同 年六月十一日 十九春河南作戰參加

自同同 年七月六日 河南中部地區警備

一發病年月日 昭和十九年六月二十六日

一發病場所 中華民國河南省鄭縣鄭州

一病名

一發病狀況

十九春河南作戰ニ参加シ河南省鄭縣鄭州ニ歸還ス 昭和十九年六月
二十六日下痢水様便ヲ來シ次第ニ腹部ノ疼痛及ヒ裏急後重甚々
シナリ下痢ハ粘血便一日十四五行トナル、食慾不振、全身倦怠感加ハリ
七月四日受診ス

右發病ノ原因ヲ探究スルニ本人ハ健康体ヲ以テ昭和十九年三月二十二日臨
時召集ニ依リ歩兵第百二十八聯隊補充隊ニ應召後直チニ渡支十九春河南
作戰ニ折柄ノ酷暑下ヲ約三ヶ月ニ亘リ部隊行李駄兵トシテ参加ス
右作戰ハ氣温高ク特ニ五、六月ハ常時氣温九十度ヲ超エ、中間殆
ト連日三、四十料ノ強行軍ヲ實施シ支那民家ニ宿營ス 糧秣ノ補給モ
主食副食共ニ圓滑ヲ欠キ現地徴發物資ヲ以テ之ニ代ヘ特ニ野菜取
得ハ極メテ困難ナル狀況ニアリタリ

部隊ハ六月二十三日河南省鄭州ニ集結シ集結後間モナク發病ニ至リ
タルモノニシテ 應召渡支後休養ノ違ナク長期ノ作戰ニ参加シ連日ノ猛
行動ハ休養給養ノ不足ヲ來シ氣象ノ與ヘタル惡感作ト相俟ツテ
逐次本人ノ身体ヲ疲勞衰弱セシメ加フルニ連日ノ支那民家ニ於ケル宿營
水質ノ不良、傳染病多發地、通過等凡テ非衛生的條件ハ遂ニ發
病ニ至ラシメタルモノニシテ其ノ原因真ニ公務ニ起因スルモノト認ム

右證明ス

昭和十九年七月七日

獨立歩兵第十三大隊長 陸軍大佐 原 宗
獨立歩兵第十三大隊附 陸軍衛生部見習士官 水原 賢

第五師團 陸軍省 陸軍省 陸軍省
 第五師團 陸軍省 陸軍省 陸軍省
 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省
 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省

古醫用
 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省
 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省
 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省
 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省

病歴書

本籍地
 現住所

第六十二師團獨立歩兵第十三大隊本部

昭和四年徵集 陸軍一等兵 早川貞一

戦争栄養失調症

昭和十九年六月二十六日

中華民國河南省鄭縣鄭州

河南作戦参加し反轉作戦に移り豫省地歸還し昭和

十九年六月二十六日ヨリ下痢ヲ来ス次第ニ腹部ノ疼痛及裏急後重甚シク粘
 血便ナリ一日十四五行アリ排便ノ際腹部疼痛ヲ訴フルヲ以テ七月四日受
 診隊治ニ適セテ送院ス

五 経 過 昭和十九年七月七日鄭州北支那方面第一兵站病院ニ入

院入院時体温三八度三分脈搏一〇〇至微弱細少栄養極度ニ衰ヘ全身
 ミイラ状トシテ意識明瞭ナルモ言語應答不確實眼窩凹陷顔面

蒼白冷汗ナリ皮膚乾燥古灰黃褐色ノ薄キタコノ衣ノ胸部肋骨露出
ス心音微弱肺域全般の延長ヲ見ル他著変ニ腹下部陥入肝脾ヲ觸
シス下腹部所々圧痛アリ右腸骨窩ニ索狀物ヲ觸レ四肢削瘦甚ニテ
浮腫如蠶豆狀認メズ便ニ行粘血便全身脱力感訴フズルアゾ
ニゲン投與葡萄酒液、ビタミンBCリンゲル液輸血強心劑ヲ注射ス
翌八日下痢止マニス一時間散行ニシテ食物残渣粘血液ヲ混入顔貌極度ニ憔悴
生氣ニ乏シ糞便血液検査ノ結果赤痢菌未癒アリバ血液膽汁培養マラ
リア同歸熱共ニ陰性ナリ發病以來ノ病狀經過並病理試驗ノ成績ヲ
綜合シテ七月九日病名ヲ戰爭榮養失調症ト決定ス
意識明瞭ナルハ脈博頻數微弱細顔面蒼白四肢冷感スルハ顔面發
汗多量アリ一般狀能ハ重篤ナルヲ以テ同日九時病症増進ノ報ヲ發ス
爾後症狀刻々ト悪化シ意識不明瞭トナリ脈搏ハ橈骨動脈ニ觸レ得
ズ眼球上申シ瞳孔對光反應消失呼吸ハ下頸呼吸ヨリ「ナニスト」人
以呼吸ヲ始メ遂ニ二十三時五十分死ス

六死七年月日

昭和十九年七月九日

七死亡場所

中華民國河南省鄭縣鄭西北支那方面軍第五兵站病院

右ノ通ニ候也

昭和十九年七月九日

鄭州北支那方面軍第五兵站病院附陸軍軍醫少尉大河内寛



昭和拾九年七月九日
北支那方面軍第一兵站病院
昭和拾九年七月九日

昭和拾九年七月九日
北支那方面軍第一兵站病院
昭和拾九年七月九日

昭和拾九年七月九日
北支那方面軍第一兵站病院
昭和拾九年七月九日

死亡證書

獨立歩兵第十三大隊本部

陸軍一等兵 早川貞一

右昭和拾九年六月貳拾六日中華民國內南省鄭縣鄭州ニ於テ警備勤務ノ際戦半發奮失調症(戰病)罹リ同年七月七日鄭州北支那方面軍第一兵站病院ニ入院加療セシ處遂ニ該病ニ由リ本日午後拾壹時五拾分死セス

昭和拾九年七月九日

北支那方面軍第一兵站病院長代理

田村

明

雄

此支隊在陸軍第一師團司令部
田林 明 賦

昭和十九年七月九日
陸軍省告示第二號大東亞戰
役ニ係ル死歿者特別賜金賜與規定第二條第二項ノ諸給與
金ハ支給シテラハレコトヲ證明ス

陸軍省告示第二號大東亞戰
役ニ係ル死歿者特別賜金賜與規定第二條第二項ノ諸給與
金ハ支給シテラハレコトヲ證明ス

諸給與金證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 獨立歩兵第十三大隊本部

官氏名 故陸軍一等兵 早川 貞一

右者ニ對スル昭和十七年一月三十一日陸軍省告示第二號大東亞戰
役ニ係ル死歿者特別賜金賜與規定第二條第二項ノ諸給與
金ハ支給シテラハレコトヲ證明ス

昭和十九年七月九日

獨立歩兵第十三大隊長

原 宗



昭和十九年四月ヨリ河南作戦ニ参加中同年五月十六日戦傷ニヨリ入院
同年六月六日治療退院シ部隊ヲ追及セシモ其ノ後微熱出沒シ羸瘦
加ハリ入院ニ至ル

右ハ昭和十八年十一月二十日臨時召集ニ依リ歩兵第百二十八聯隊ニ應召シ全
ク健康体ヲ以テ渡支セルモノニシテ發病ノ原因ヲ探究スルニ渡支後作戦
要求ニ基ク急速ナル本業基本教育ヲ終了山西省太原附近ノ警備ニ
任シリタルモ昭和十九年四月河南作戦ノ開始セラルヤ大隊作業小隊作
業手トシテ参加 氣温九十度ヲ超ル酷暑下ヲ連日三四十軒移動
作戦行動ヲ實施シ 五月五日戦傷ニ因リ第六十二師團野戰病院ニ入
院ハ六月六日洛陽兵站病院ヲ治療退院部隊ニ追及シ部隊ト行動ヲ
共ニシリタルモ長期ノ作戦間ノ猛行動ハ休養ノ不足ヲ來シ糧秣補
給主食副食共ニ圓滑ヲ欠キ現地徵發物資ヲ以テ之ニ代ヘ特ニ野
菜ノ取得困難等給與ノ不良ト共 逐日日本人ノ身体ヲ疲勞衰弱セ
シメ加フルニ酷暑ノ與ヘタル悪感作此ニ連日ノ支那民家ニ於ケル宿營

水質ノ不良傳染病多發地ノ通過等凡ク非衛生的條件ハ諸
病ニ對スル抵抗力ヲ減弱シアリタル本人ヲ遂ニ發病ニ至ラシメタルモノニシ
テ其原因眞ニ公務ニ起因スルモノト認ム

右證明ス

昭和十九年七月一日

獨立歩兵第十三大隊長
獨立歩兵第十三大隊附

陸軍大佐
陸軍軍醫中尉

原宗辰
福場卓司



熱スバロハシラ證明シ得ルヲ以テ傳染病科病室轉入ス 同月五日轉入
時體格營養中等度顔貌稍蒼白舌薄キ白苔シ衣不咽頭粘膜著黄
ク胸部一吸ニ呼吸音粗シテ打診上著黄ク腹部僅カニ膨滿ニ呼吸時肝
縁觸知シ得檢血ニヨリ回歸熱スバロハシラ 證明セシヨリハルヤシム
注射以尚防痂給以部檢血依頼ス 同月十日防痂給以部檢血依頼給血ヨリ
分ルニ未ル氏前證相傳ニヨリ報接ス七月十六日在狀經過ニ病室試驗
成績ニヨリ回歸熱ニ細菌性食中毒ト病必決定ス

健胃劑リシ流液葡萄糖液ヅクミンBCブルフアニテ劑ヲ授テ午後
高熱持續ニ益憔悴甚ク使通一日三十行粘血便ニシテ口渴激シク食思
睡眠共ニ不食トナリ時ニ意識應答不確ニシテ全ク重篤ナル狀態ナリ
依ツ同月二十日午前十分病室増進報ヲ發ス

同月二十四日熱稍ニ降下スルニ食思睡眠全ク不食ニシテ氣力衰ヘ語ヲ發
シ熱劑効テ漸次悪化ニ途ヲ辿リ同月三十日午益半脈ナルニ食思睡眠
共ニ不食ニシテ全身浮腫發現シ意識全クナク應答不確ニシテ瞳孔對光
反應遂行ナリ全ク絶望ニ状態ニテ午後六時十分危篤報ヲ發ス

本訂正

本訂正

極力心カ保持營養補給ニ努メドモ益々病勢悪化シ全ク意識不明ト
ナリ時ニ不安ナル狀態ナリ 語ヲ發シ午前十分ニ至リ遂ニ四肢厥冷
口唇チアノーゼニシテ

下顎呼吸初メトナリト氏呼吸トナリ瞳孔對光反應全クナク午前
十分ニ至リ息絶シテ

六 死ニ年月日 昭和十九年七月三十一日

死之場所 華民國河南省鄭州北支那方面軍第一兵病院

七 遺言 遺言也

鄭州北支那方面軍第一兵病院附 陸軍醫少尉 大河内寛

昭和三十九年七月參拾壹日
北支那方面軍第一兵站病院長代理 田村 明雄

昭和三十九年七月參拾壹日
北支那方面軍第一兵站病院長代理 田村 明雄

昭和三十九年七月參拾壹日
北支那方面軍第一兵站病院長代理 田村 明雄

死亡證書

獨立步兵第十三大隊第五中隊

陸軍上等兵 谷澤 米次郎

右昭和拾九年六月貳拾日 中華民國河南省鄭縣鄭州 於戶警備勤務、際田歸熱兼食中毒(戰病)罹り 同年七月壹日 鄭州北支那方面軍第一兵站病院入院加療也 處遂該病由リ 本日午前零時拾分死ス

昭和拾九年七月參拾壹日
北支那方面軍第一兵站病院長代理 田村 明雄

參事加入

參事加入

參事加入

參事加入

陸軍省 陸軍部 第一中隊 田村 田村

昭和十九年七月三十一日
陸軍省 陸軍部 第一中隊 田村 田村
陸軍省 陸軍部 第一中隊 田村 田村
陸軍省 陸軍部 第一中隊 田村 田村

陸軍省 陸軍部 第一中隊 田村 田村
陸軍省 陸軍部 第一中隊 田村 田村
陸軍省 陸軍部 第一中隊 田村 田村

諸給與金證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 獨立歩兵第十三大隊 第五中隊

官氏名 故陸軍上等兵 谷澤 米次郎

右者ニ對スル昭和十七年一月三十一日陸軍省告示第二號大東亞戰
役ニ係ル死歿者特別賜與金賜與規定第二條第二項ノ諸給與
金ハ支給シアラサルコトヲ證明ス

昭和十九年七月三十一日
獨立歩兵第十三大隊長 原 宗



師團	師	主計	高副	參謀	參謀	師團

師團	師	主計	高副	參謀	參謀	師團

石十三號 第三七號
 恩賞關係書類送付ノ件報告
 昭和拾廿年貳月廿貳日
 石第三五九四部隊
 石第一八八二部隊御中
 有題ノ件左記ノ通送付ス
 記
 東京長谷川

九	九	九	九	一	五	津	病死	伊藤	和明	名
明書	明書	病歴書	明書	明書	明書	隊別	官卒	氏		

東京 小澤納

(東京・長谷川)